

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月24日

事業者名: シーシーアイホールディングス株式会社

| 三側面   | SDGsの達成に向けた重点的な取組み                                     | 関連するSDGsゴール<br>(最大3つ)  | 実績  | 指標・目標 |  |
|-------|--|--|---|-------|--|
|       |  |  |   | 指標    | 目標   |
| 環境    | 廃熱利用、燃料転換など高度なエネルギーマネジメントを行い、製造現場からのCO2を減らし、生産性を向上させます | ⑬気候変動に具体的な対策を  | 2022年度CO2排出量 82tCO2削減 (2019年度比)   | 指標    | CO2排出量削減率                                    |
|       |  |  |   | 目標    | 2030年度にCO2排出量2019年度比30%削減 (Scope1、2)         |
| 社会    | デジタル化・自動化を進め、従業員エンゲージメントを向上します                         | ⑧働きがいも経済成長も  | 企業理念の再構築、上司と部下との1on1ミーティングの実施、PRIDE指標 (職場におけるLGBTQへの取組みの評価指標) で2022年11月ブロンズ認定、各種教育などを通して、従業員エンゲージメントの向上の取り組みを実施しています。 | 指標    | 従業員エンゲージメントサーベイスコア                           |
|       |  |  |   | 目標    | 2030年度にスコア 54.0点                             |
| 経済    | 限りある資源を大切に使い、未来の地球に返すために、持続可能な循環型社会を構築します              | ⑫つくる責任 つかう責任   | 工場のタンクを洗浄するために使用された水を廃液として廃棄していましたが、現在は廃液の成分を分析し、廃液を有効に活用しています。この取り組みにより、新たに使用する水の削減を図っています。                          | 指標    | 工場廃液量  |
|       |  |  |   | 目標    | 2030年度に工場廃液量 (2019年) の50%を再資源化 (削減を含む) し活用する |
| ガバナンス | チェック   | SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている (PDCAサイクル等)。<br><具体的な内容を記載><br><br>・代表取締役社長が委員長のサステナビリティ推進委員会の設置し、進捗状況の管理、活動方針の決定をしている<br>・サステナビリティ推進担当を各部に配置し、進捗状況の情報共有を実施している<br>・各事業部、部の目標に設定し、各個人目標に落とし込んでおり、定期的に進捗状況を把握し、改善策を検討している |   |       |  |
|       | <input checked="" type="checkbox"/>                    |  |   |       |  |